## SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)

						主なS	DGs (	(17ゴ-	ールと	:169ターク	<b>デット</b> )	関連項	3		
カテ	非該	チェック項目	取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1 2	3 4 5	6	7	8	9 10	11	12 13	14	15 1	6 17
ゴリ	当	7-77-81	レベル	併せて記載してください。)	275 16464		E ::::::::	7	8 Mile 2007	10000T	ALL:	© II :::::	H (100 )	15 TO	***************************************
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	女性雇用が8割を超えており、過去に外国人も在籍していた ことから差別はありません。今後も現状を継続させます。		5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					5.1 5.2 5.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備 している	基本	今後定期的にミーティング等を行い、周知徹底を図る予定 であります。		5.1 5.2 5.5			8.5					16	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	繁忙期の工場長でも残業時間が少なく、他の従業員においても残業はほとんどありません。今後も現状を継続させます。					8.5 8.8						
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現状は外国人労働者はいないが、過去に在籍していた時には差別 や人権侵害など全くありませんでした。今後もそのように取り組んで いく予定です。		4.4			8.7 8.8	10.2 10.3					
5 人権		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	HACCPIC準じて安全・衛生的な労働環境の整備を行っています。		3			8						
労 6 働		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	年3回懇親会を行っていますが、今後メンタルヘルス向上に向けた研修等を実施します <予定>		3									
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性労働者が8割を超えており、高齢者も働いているので、 職場環境の整備は進んでいます。今後も随時環境整備を進 めます。		5.1 5.5			8.5	10.2 10.3					
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	社内研修、外部研修参加を定期的に行っています。		4 5.5			8	9					
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	現状で待遇に差があるが、国の方針に従って段階的に格差の是正を行っていきます。<予定>		5.5			8.5	10.2 10.3					
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	年1回の健康診断を行っています。 作業者の効率的な作業方法のために作業講習を行ってい きます。<予定>		3			8						
1		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	生めん残渣を100%養鶏場に引き取ってもらっていおり、廃棄物の削減を行っています。							11.6	12.4	14.1		
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	月次の電気使用量を把握し、削減に努めています。				7.3				13			
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	ボイラーで灯油を消費しているが、現状では削減が難しいです。将来的に設備取替により削減予定です。<予定>				7.2 7.3				12.4 13.3			
4 境		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組ん でいる	基本	食品製造業であるため、有害化学物質を使用しておりません。		3.9	6.3				11.6	12.4			
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	自社の廃棄物や排水などを管理しています。生めん残渣の 再利用量を今後モニタリングしていく予定です。<予定>			6.6							15	
16		【3 Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	生めん残渣の再利用を行っています。 今後プラスチックに代替する製品が出れば順次取り換える 予定です。<予定>								12.5	14.1		
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	現状でムダな水資源の利用は行っていませんが、今後使用 水道料の把握を徹底します。<予定>			6.4 6.6								

							主	なSDGs	(17ゴ-	ールと	:169タ-	ーゲット	- )関	連項目	1		
カラ		チェック項目	取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1 2	3		5 6								15	16 17
ゴリ	当	7 + 77 % L	レベル	併せて記載してください。)	bilit	3 miles -/s/\$	iii Mil	<b>₫</b>	7	* ### ##	**************************************	Ald:	(CO)	•	MEETIN MARKE MARKE	15 15	<u>¥</u> ∰
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			3.9		6	7				12	13.3	14	15	
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	養鶏場の許可が出れば廃棄に回るはずであった生めん残渣 の再利用分の開示を行う予定です。<予定>									12.6				
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ						7.2					13			
21		<ul><li>【天然資源の持続的利用】</li><li>・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる</li></ul>	チャレンジ	FSC認証紙や再生紙を利用した名刺を今後活用していきます。									12.2	13	14	15	
22		<ul><li>【汚職・贈収賄防止】</li><li>・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している</li></ul>	基本	経営者が社員および役員に向け、汚職・贈収賄の禁止を周知徹底させていく予定です。 <予定>													16 16.5
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	経営者が社員および役員に向け、不正競争の禁止を周知 徹底させていく予定です。<予定>													16
24 公正		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産は現状で保有していません。						8.2 8.3	9						
な 事業 慣行		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報に対する基本方針を定めて公表し、体制を整備しています。													16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	事業において鉱物を取り扱っていません。													16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の 防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、 共に取り組んでいる	チャレンジ	SDGsの考えをサプライチェーン等と共有していく予定です。 <予定>				5		8	1	.0	12	13	14	15	16 17
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	HACOPに準じて安全性を確保しています。		3.9							12.4				
製品・サ		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	HACCPに準じて品質を確保しています。							9						
30 ス		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ					6					12	13	14	15	
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	地域の産官学による連携で残渣の削減や地域活性化の商品づくりなどを行っています。	1 2	3	4	5 6	7	8	9 1	.0 11	12	13	14	15	16 17

							Ė	きなSDGs	(17ゴ									
	非該	チェック項目	取組	具体的な取組(県などの取得認証があれば	1 2		<u> </u>		7	8		10 1	1 12					
	当	, - , , <u>, , , , , , , , , , , , , , , ,</u>	レベル	(県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	total	8 201521 -/41/€		<b>Q</b>	7	8 HUH <b>ATT</b>	******	⊕ AL	© C	•	H EST	<u>\$</u> 2	# 1000 <b>⊻</b> r	***
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域の小学校等で麺づくり等のイベントを開催しています。			4				9	1	1 12	2	14	15		17
地域貢献・		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	福祉施設のイベントで麺のふるまいなどを行っています。			4					1	1		14	15		17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	長野県産の小麦や原材料などを積極的に使っています。						8	9	1	1 12	2 13	1			
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念や経営目標を策定し、社内で共有しています。						8	9							17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	今後法令遵守の考えを社内に周知徹底させていきます。 予定>													16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	社長が社会・環境への対応を行う担当者とししての役割を 負っています。													16	
38 組織		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握しています。													16	17
39 制		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	HACCPに準拠してリスクマネジメントを行っています。													16	
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動 が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	社長が中心になって責任をもって取り組んでいます。													16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ								9	1	1	13 13.			16	
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	当社はまだ事業承継の段階にあたりません。						8	9							17

## 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6 7	8	9 10	11	12 13 14	15	16 17

## 【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り 組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)